

令和4年度笛吹市スポーツ推進審議会 第2回会議 議事録

- 1 日時：令和5年3月17日(金) 午後7時00分～8時15分
- 2 場所：笛吹市役所市民窓口館3階 302・303会議室
- 3 出席者：◇スポーツ推進審議会委員
川崎正次、深山礼、窪川克己、村松敏子、雨宮克枝、猪股真弥、廣瀬志保
須田 徹
欠席者： 渡辺修
◇教育委員会
望月教育長、赤尾教育部長
◇教育委員会事務局（生涯学習課）
手塚課長、スポーツ推進担当 降矢、海野
- 4 傍聴人：なし
- 5 次第
1 開会のことば 司会進行 手塚課長
2 会長あいさつ 深山副会長
3 教育長あいさつ 川崎会長
4 議事 望月教育長
議長 川崎会長
(1) 笛吹市体育施設料金の考え方について
(2) 部活動の地域移行について
(3) その他
5 閉会のことば 深山副会長

次第 4 議事

〈事務局〉 笛吹市スポーツ推進審議会条例第 5 条に「会長は、審議会を代表し、議事その他会務を総理する。」とあるので、ここからは川崎会長に議事の進行をお願いします。

(1) 笛吹市体育施設料金の考え方について

〈議長〉 事務局より説明を求めます。

〈事務局〉 現在の料金算定の考え方では毎回料金が改定されることとなるが、施設の使用料などは頻繁に変更することは好ましくない。

また、現在の料金表示が「市内料金 200 円、市外料金 2 倍」となっているものを「基本料金 200 円、市内料金 100 円」などわかりやすいように改めていきたい。

「情勢が大きく変わらない限り変動しないような方針としていくため、今後の見直しの際に周期についても廃止の検討をしていく。」

〈須田委員〉 現在電気料等の高騰が続いているが、すぐに料金に転嫁するということは考えてはいないのか。

〈事務局〉 現在の状況を、すぐに使用料に転嫁するという考えはない。

〈議長〉 今後料金の方針の見直しなどがある際は、このような考えがあるということの隅において、検討していくこととする。

(2) 部活動の地域移行について

〈議長〉 事務局から説明を求めます。

〈事務局〉 今後協議会などを設置する際は本審議会から委員として代表者の参加をお願いします。事も考えられる。

また、部活動の地域移行についての検討に伴って、スポーツ推進計画の変更も想定されるため、その際は、検討をお願いします。

〈議長〉 事務局から部活動の地域移行について説明があったが、決まっていない部分が多いため、これから勉強しながら検討していく必要がある。

〈教育長〉 昨年 6 月の有識者会議において、実施主体をどこにするか、そのための財源、指導者、施設の確保と大会参加、保護者の負担と保険の在り方など検討するようにとの指摘があり、その場所として協議会をつくるよう提言があった。

山梨県では、南アルプス市の八田中・櫛形中が一部の部活に外部指導者に入れ 2 年間の検証を進め成果が報告されているが、ここでさえも協議会はまだ無い。

一方で韮崎市や昭和町などの検討会などがあり、先進的な活動をしている市町村を参考にしながら協議会などを立ち上げ、関係者の皆さんと協力しながら検討を進めていきたい。

〈村松委員〉 競技団体との協議（話し合い）はあったのか。

〈事務局〉 個別にということはないが、中学校の運動部・文化部の指導をしている代表の教員から現状について伺ったことはある。その時に協議会などへの参加をお願いします。

〈村松委員〉 まずは現状把握が大事と考える。スポーツ少年団でも団員数の減少により統合みたいなことがあるので、部員数や近隣の学校、施設の状況などを踏まえ、競技ごとに把握していく必要がある。

〈事務局〉 現状把握は進めていかなければならないが、各競技、各地域で本当に状況が違う

ので、市としてこうして欲しいというものを示すことは難しいと思うので、情報を集め協議会などで検討していきたい。また、保護者の負担も考えていく必要がある。

〈教育長〉 外部指導者については、県の補助も受け今年度各校に1人ずつ、学校のニーズを踏まえ配置した。令和5年度は国県の予算が増額されたことにより各校2人の配置を予定している。

県教委で、部活動の地域移行についてアンケートを取ったので、今後分析し、市における検討に生かしていきたい。

〈議長〉 あらゆることを想定して検討を進めていかなければならない。先進地を見ていくことも必要と考える。

(3) その他

〈議長〉 その他ですが、何か議題はあるか。

〈事務局〉 令和4年度の事業報告をしたい。

- ・12月にスポーツ推進委員、スポ少指導者など対象にACP研修を実施。
 - ・VF甲府のフィットネスダイレクターによるランクリニックを実施。早く走るためのコツを教えていただいた(市内6小学校)。
 - ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を実施。日本代表経験者などを講師として招き、スポーツに興味を持ってもらう足掛かりとしたい(市内2小学校)。
- 令和5年度も重点事業として継続していく。

〈村松委員〉 ACP研修について、今回県のスポーツ推進委員の会長にも見ていただき、非常に良い活動ということで、みんなのスポーツという雑誌に講師の先生が掲載されている。

岡山県では子供たちも一緒に参加する活動について県を挙げて実施している。このような良い活動をみんなが知って、子供たちのために広げていくということが必要と思う。

〈議長〉 子供たちの運動能力の向上につながるような新しい事業等に取り組んでいくことが必要のため、事業継続をお願いする。

次第 5 閉会

午後8時15分 閉会